

2025年度BVCCプログラム 経営学特殊研究（対話型価値共創演習）

まち歩きフィールドワーク帖

神戸大学の皆さんへ

今回の授業で企画する着地型観光商品に限らず、地域でビジネスを企画し設計するためには、まずは地域をよく観察し、その地域ならではの課題(もしくは機会)を見つけることが最も重要です。

そしてその要因を細かく分析し、解決策となり得るような提案を行います。

普段旅行に行くときや、まちに遊びに行くときよりも少しだけ目線を上げて、まずは神戸というまちをよく観察してみましょう。

①まちを調べ、計画を立てる

駅、道路、観光スポット、公園、公共施設（区役所、図書館、学校など）などの場所や位置関係を調べ、このまちがどのような作りになっていて、どこに何があるか、全体像を掴んで地図に書き込んでいく。そして、当日にどこをどんなルートで歩くか、メモしておく。

②歩いて確かめる

まちの全体像を意識しながら、実施に歩いてみる。建物の大きさや高さ、道幅や高低差、目的地までの距離感、人の多さや流れなど、事前の下調べや地図からはわからない情報がたくさんある。目的地が案外遠かったり、逆に近道を見つけたり、坂になっていて疲れたり、いろいろなことを感じると思うので、歩いてみて感じたことをメモしておく。

③「気になり」や「お気に入り」を記録する

歩いているといろんな場所に出会います。行列ができてるお店や不思議な形をした建物、謎のオブジェなど、「これ、なんだろう」と気になる場所や「なんとなくここ好きだな」と感じたお気に入りの場所があればメモする。写真も撮っておくと良い。

④すれ違う人々を観察する

まちにはいろんな人がいる。まちで暮らしている人、商売をする人、会社勤めの人、観光客（日本人、外国人）、学生さん…など、すれ違う人はどんな人で、どんなことを感じていそうか？楽しそう、大変そう、幸せそう…など、観察してメモしておく。

⑤希望を書き出す

歩き終わったら、②-④を振り返ってみて、神戸がみんなにとって良い場所になるために、「もっとこうだったらいいのに」「こういうことをすればいいのに」と思う点を考える。「みんなでハイタッチをすればいい」など、現実的でなくても良いので思いつく限り書き出してみる。

このワークシートを使って、次回の授業(4/30)でグループワークを行います。記入した上で当日持参してください。

①まちを調べ、計画を立てる - 配布した地図に駅、道路、観光スポット、公園、公共施設（区役所、図書館、学校など）、まち歩きをするルートやいきたいお店を書き込んでおく。

②歩いて確かめる

メモ欄：

③「気になり」や「お気に入り」を記録する

メモ欄：

④すれ違う人々を観察する

メモ欄：

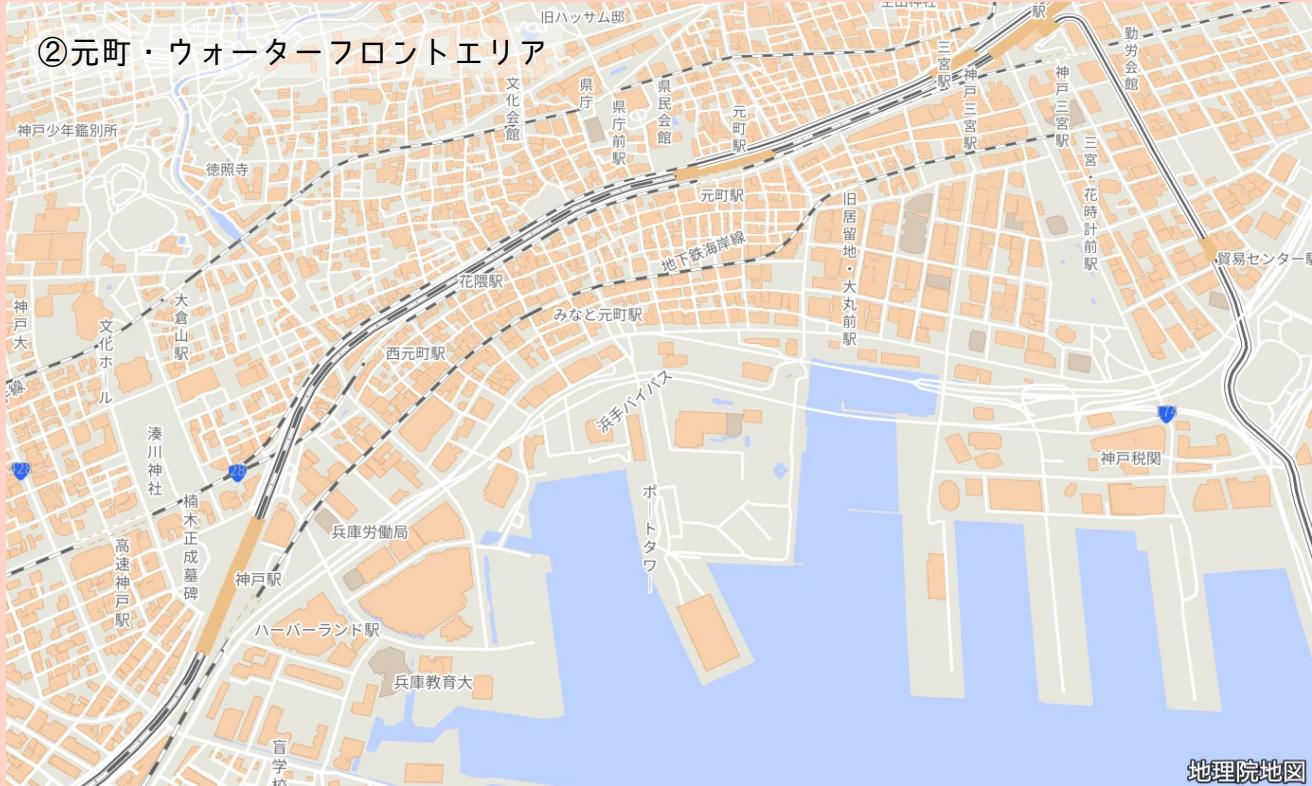
⑤希望を書き出す

メモ欄：

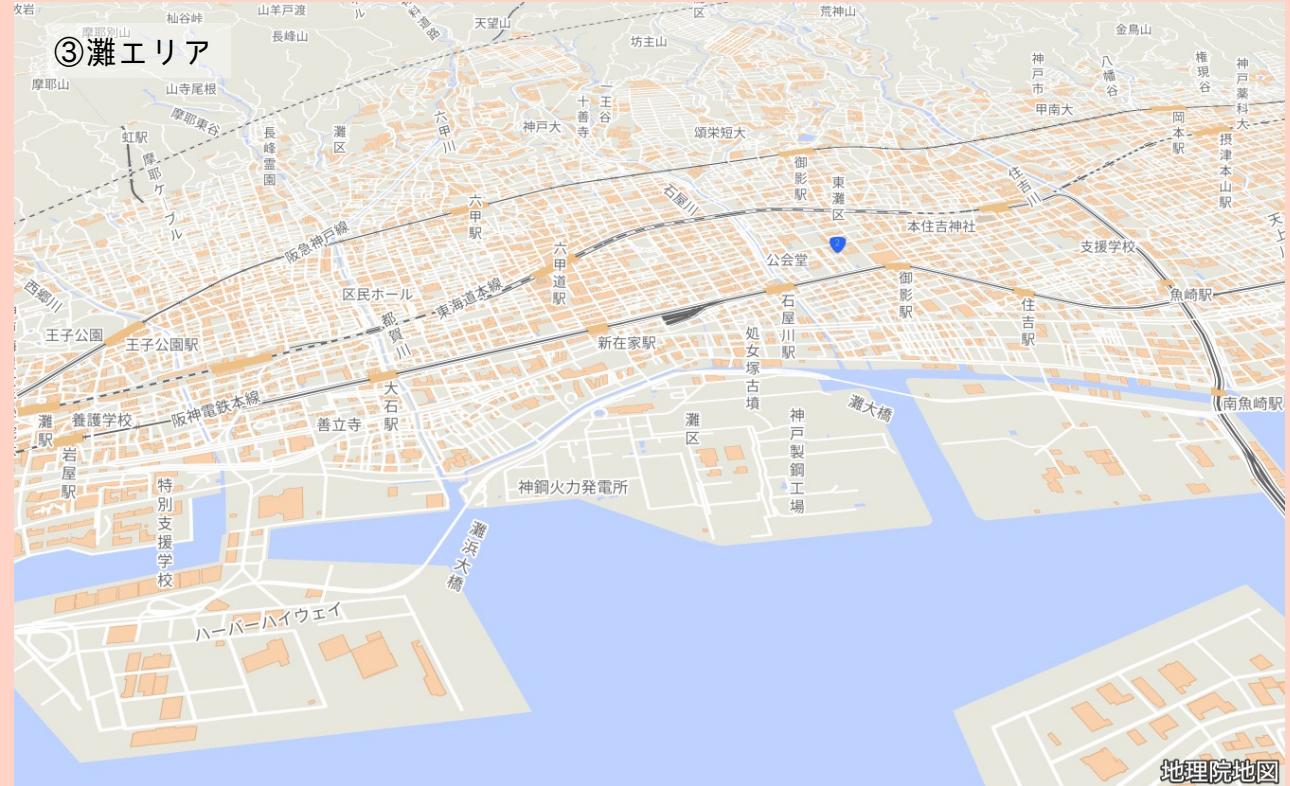
①北野異人館街・三宮エリア



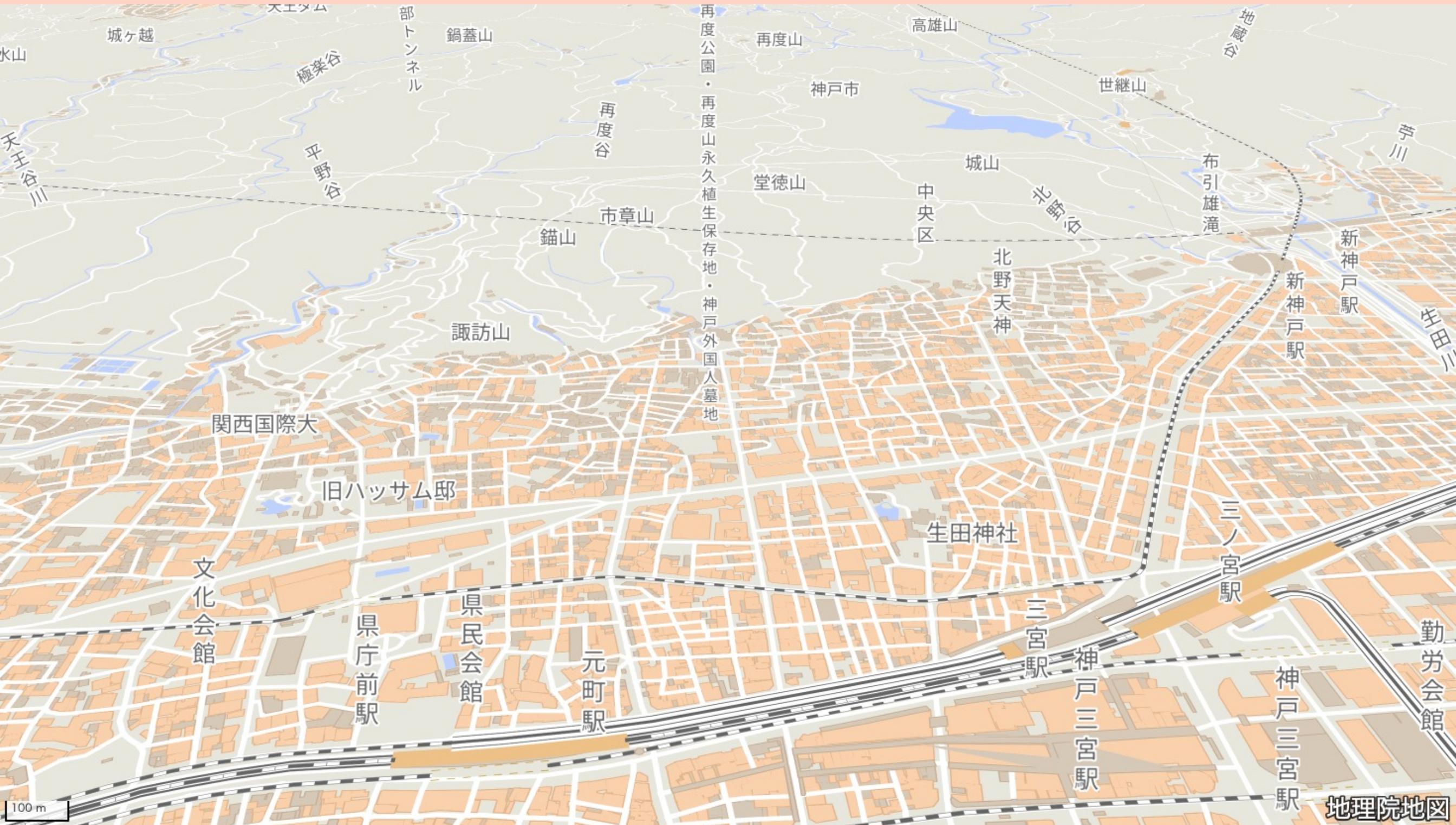
②元町・ウォーターフロントエリア



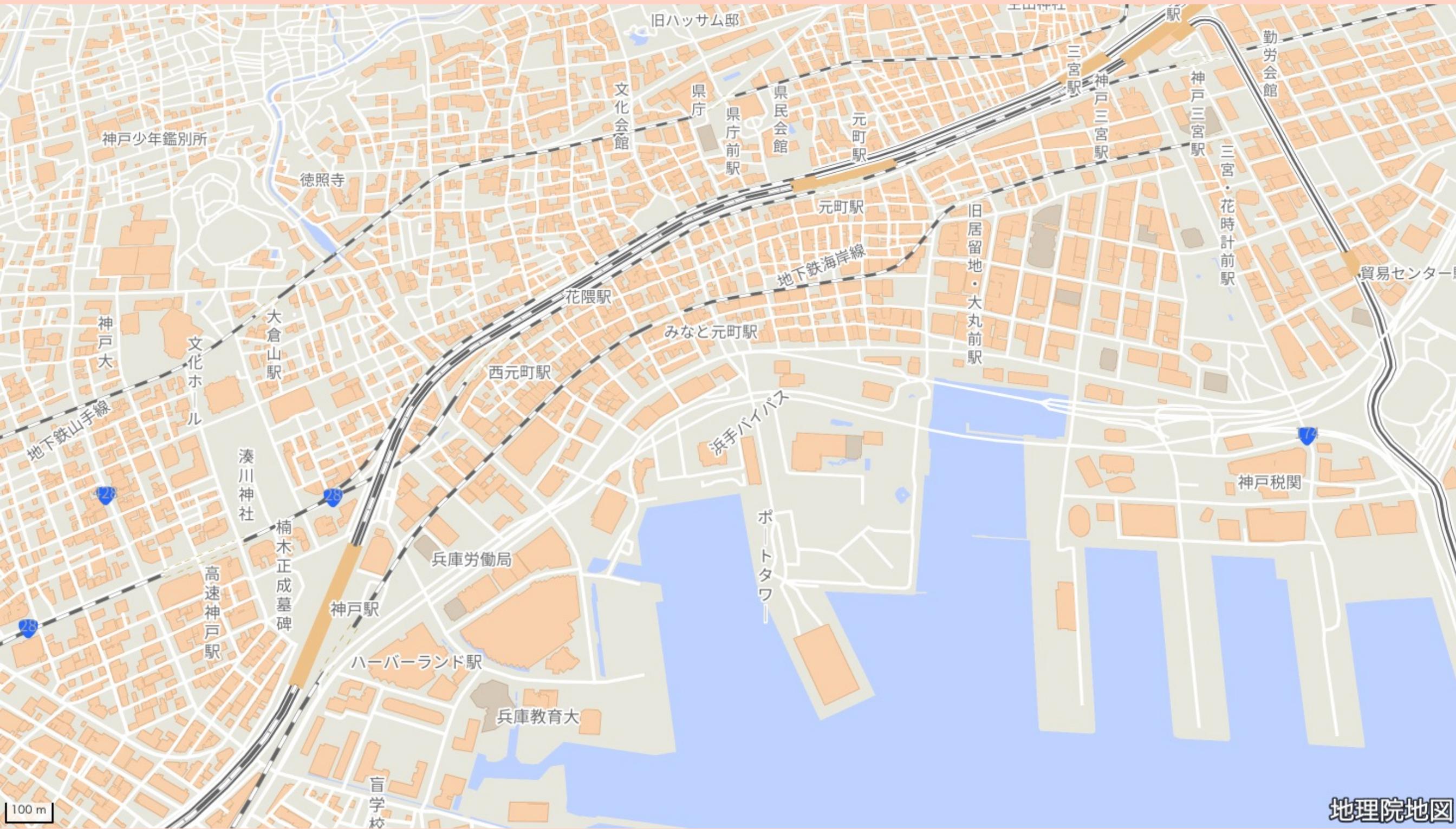
③灘エリア



①北野異人館街・三宮エリア



②元町・ウォーターフロントエリア



③灘エリア

